

【別紙 4】

巡回業務実施要領

1 巡回業務の目的

巡回業務は、三原市が管理する道路施設の状態が適正な状態に保たれるよう、施設の状態を把握し、異常事象を未然に防ぐために実施する。異常事象を発見した場合は、安全確保を最優先として、速やかに必要な措置を行う(応急措置を含む)。また、三原市が管理する道路施設において、必要な情報及び資料を収集する。

2 巡回業務実施計画

受注者は、契約後、業務開始日の7日前までに、巡回方法、巡回体制、連絡系統、巡回員に対する指導計画などを定めた巡回業務実施計画書を作成し、発注者に提出しなければならない。

なお、巡回業務実施計画書の内容に変更が生じた場合は、同様に変更計画書を作成し、発注者に提出するものとする。

3 巡回の種類

(1) 通常巡回

巡回を実施する市道は、【別紙 2】「業務対象施設位置図」に示す。

(2) 異常時巡回

台風、豪雨、地震等による災害の発生時、またはそのおそれがある場合は、発注者の指示により巡回を実施し、必要に応じて安全対策を行う。

4 巡回の実施

巡回は、次の事項を遵守して行うものとする。

(1) 損傷、路上障害物等、要求水準を満たさない状態(以下「未達状態」という。)を確認した場合、又は未達状態が疑われる場合は、安全確保を最優先として速やかに必要な措置を行う(応急措置を含む)。

(2) 受注者は、下記のような緊急を要する場合、必要な措置を取るとともに、速やかに発注者に報告しなければならない。

ア 路面陥没、路肩崩壊、法面崩壊・亀裂、雪崩発生、倒木等、道路に大きな異常が認められた場合又はそのおそれがあると認められた場合。

イ 道路施設の損傷により交通に支障が生じている場合。

ウ 道路区域に枝木等が越境し、通行の安全が阻害されている場合。

エ 交通事故等により交通に支障が生じている場合。

オ その他、一般交通に影響を与える事象等速やかに報告すべきと判断された場

合。

- (3) 受注者は、占用工事等に起因して、道路の利用に支障が生じている場合又はそのおそれがある場合には、発見の日時、場所及び状況を発注者に報告するものとする。
- (4) 受注者は、不法占用等に起因して、道路の管理上支障となる行為を発見した場合には、適切な措置を講ずるとともに、発見の日時、場所及び状況を発注者に報告するものとする。

5 日報

日報は、巡回で把握した事項から対応の経過を、写真等も含め明確に記録する。記録については、モニタリング報告書として提出すること。

6 その他

本実施要領に記載のない事項については、次によるものとする。

道路巡視業務実施要領（最新版・広島県）